

# 令和4年度 夢風船 事業報告書

## 1 総括

令和元年度以降3年度迄、新型コロナウイルス感染症の事業への影響は年々大きくなってきていたが、令和4年度は8月に利用者、職員合わせて15名の感染者が出て、利用者の通所を3日間停止するなど、これ迄で最も大きな影響が出た1年となった。感染防止のための利用自粛は徐々に減少傾向にはあるが、継続してみられており、前年度から利用者1名が増えたにもかかわらず一日平均利用者数は21.0人となり、3年度の21.1人から0.1人減となった。一日平均利用者数は2年度以降、減少が続いている。

令和2年度以降、活動の状況に大きな変化はなく、作業活動や運動プログラム、行事など概ね順調に行えている。4年度も音楽活動、プール、余暇支援のカラオケ等を中止とし、事業所内での活動や感染のリスクの少ない場所への外出を多く持つようにしたが、余暇支援ではゲームセンターなど、感染対策のうえ、利用者の希望に沿って少しずつ活動範囲を広げてきた。また、多くの利用者が楽しみにしている旅行は、今年も実施し、23名の利用者が参加した。

## 2 事業概要

- 1) 事業所名 : 夢風船
- 2) 事業種別 : 生活介護
- 3) 所在地 : 東京都小平市小川町2-1931-1
- 4) 経営主体 : 社会福祉法人未来
- 5) 利用定員 : 20名
- 6) 利用現員 : 30名 (令和5年3月31日現在)
- 7) 法人認可年月日 : 平成14年12月11日
- 8) 事業開始年月日 : 平成26年11月1日
- 9) 職員 (令和5年3月31日現在)
  - 管理者 1名
  - サービス管理責任者 1名 (常勤換算1.0)
  - 生活支援員 16名 (常勤換算14.7)
  - 看護職 1名 (常勤換算1.0)
  - 嘱託医 1名

## 3 基本理念

- 1) 一人ひとりの自己実現の支援。
- 2) 互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築。
- 3) 安心と希望の持てる生活。

## 4 基本方針

- 1) 日中活動の保障
- 2) 豊かな生活の支援
- 3) 利用者一人ひとりの主体的な生活の支援
- 4) 個別支援計画に基づいた計画的な支援
- 5) 利用者への相談支援
- 6) 安心できる将来への支援

## 5 実施事業（活動内容）

- 1) 就労支援事業
  - ① 資源回収作業
  - ② 弁当箱配達回収作業
  - ③ 公園清掃受託作業
  - ④ シュレッダー作業
  - ⑤ PC入力作業
  - ⑥ 折紙製品作成事業
  - ⑦ その他受注作業
- 2) 生活支援事業
  - ① 入浴（毎日）
  - ② 運動プログラム（ウォーキング・腹筋運動等）
  - ③ バイタルチェック（朝・入浴前）
  - ④ 余暇支援事業
- 3) 行事等
  - 4月 利用者永年勤続表彰式
  - 5月 ドライブ（野山北公園）
  - 6月 音楽会（職員による楽器演奏と歌）
  - 7月 遠足（羽村動物園）
  - 8月 川遊び
  - 9月 運動会
  - 10月 芋掘り
  - 11月 一泊旅行（茨城県）
  - 12月 人形劇観覧
  - 1月 初詣
  - 2月 ストラックアウト大会
  - 3月 遠足（小金井公園）

## 6 日 課

開所・送迎	8:30～9:30
バイタルチェック	9:00～9:40
朝礼	9:40～9:50
出席確認・連絡事項・活動の確認	
活動	9:50～11:30
作業（資源回収作業／弁当箱配達回収作業／清掃作業／PC作業、室内軽作業）	
運動プログラム・・・水泳、ウォーキング	
入浴	
昼食・休憩	11:30～13:30
昼礼	13:30～13:35
連絡事項・活動の確認	
活動	13:35～15:50
作業（資源回収作業／弁当箱回収作業／清掃作業／PC作業、室内軽作業）	
運動プログラム・・・水泳、ウォーキング	
入浴	
終礼	15:50～16:00
送迎・清掃	16:00～17:10
職員打ち合わせ	17:10～17:30

## 7 重点課題・目標に対する成果と課題

### 1) 活動

#### 1 F—

##### (1) 利用者の主体性の向上に向けた活動

朝礼等の司会の他、利用者が参加する場面を設ける。また、自ら考える場面を増やし、活動に向けた意欲と主体性の向上を図る。

#### 【成果と課題】

朝礼の司会の当番制や利用者自らの予定の報告等は、これまで継続して行っており、定着している。利用者の提案により昨年度始まった法人ホームページの更新作業も順調に実施できている。

#### 2 F—

##### (1) 利用者の安全確保

利用者個々の特性を理解のうえ、見守りの強化や精神的な安定に向けた環境設定やコミュニケーションにより、離接や他害行動、自傷行為などの防止を徹底する。

#### 【成果と課題】

多くの利用者が概ね安定して活動ができており、他害、離接等で大きな事故には至っていない。個々の利用者の特性等についての理解が進み、不安等原因の解消と見守りによる事故の事前防止がある程度できている。しかし、不穏化の原因がわからないこともまだ多く、他害等の問題行動の完全な消失に至っていない。

#### 1・2 F 共通—

##### (1) 利用者の生活全般にわたる支援の充実。

本人や家族の高齢化等による生活基盤が脆弱化しつつある利用者に対して、相談支援の充実、衛生保持、健康管理、日常の軽微な事柄への支援、専門機関への連絡調整、将来の居住環境整備に向けた準備など幅広く柔軟な支援を行う。

#### 【成果と課題】

緊急時の4時以降の延長支援などのニーズに対して柔軟な対応を行っているほか、2名については後見人との連携により支援を行っている。利用者30名の内10名はGH入居者、2名は施設入所支援の利用者だが、GH入居者は年々増加傾向にあり、家庭のほか、関係機関との連携の重要性が年々増してきている（現在のところ、関係機関との連携は良く取れている）。

##### (2) 各利用者の可能性の発見と伸長にむけた活動（作業）の開拓と支援

活動や生活場面において、自分で考える機会の保障や継続により生活能力や作業能力の向上を図る。また、様々な経験を通して能力や興味関心の発見とその伸長を目指すことで、一人ひとりがやりがいをもって生活できるように支援を行う。

#### 【成果と課題】

継続により、流れを理解し、自発的に作業に取り組むことは全般的に定着している。多くの利用者は利用開始後数年で継続力や集中力の向上が見られている。自主製品で折紙の製品を作っている1名の利用者については、製作技術の向上がみられ、自主製品の販売も順調に伸びている。また、コミュニケーション能力、身辺自立、身体機能の維持向上のための取り組みなどは、利用者の状況に応じてその都度変更するなど丁寧に行ってきた。成果が見えにく

い部分も多いが、学習による能力向上や機能低下の防止など等の効果が感じられる。外部からの新規作業開拓は新型コロナウイルスの感染拡大もあり、積極的に行えなかった。

### (3) 健康管理の充実

- ① 新型コロナウイルスの感染症など感染症対策を徹底する。
- ② 一人ひとりの健康管理や衛生保持、また身体機能の維持向上を丁寧に行うとともに、疾病、けが等への迅速な対応を行う。

#### 【成果と課題】

- ① 手洗い、消毒、換気、検温、マスクの着用など基本的な感染対策のほか、体調不良者がいた場合の各家庭への連絡など情報提供を丁寧を実施した。利用者への継続した声掛けでマスク着用を促しているが、中にはマスクの着用が難しい方もいて徹底が困難な状況が続いている。7月末に新型コロナウイルス感染症が集団発生し（利用者10名、職員5名、内無症状利用者1名、入院等の重症者なし）、8月1日から3日迄、感染拡大防止のため利用者の利用を停止することとなった。また、希望する利用者、職員に対して9月に新型コロナウイルス4回目のワクチン接種、12月にインフルエンザワクチン接種を実施した。
- ② 毎日のバイタルチェック、入浴時の身体チェックによる健康管理や身体機能維持のためのリハビリ、また肥満防止、健康保持のためのウォーキングや腹筋運動等を継続的に実施している。肥満傾向のある方については、全般的に体重増加は防止できている。令和4年1月から12月までの体重と血圧の変動のグラフを各利用者に配布した。

### 2) 人材育成

- (1) リーダー層の育成
- (2) PDCAサイクルの実施による利用者支援スキルの向上。
- (3) 職員間の連携協働体制の強化

#### 【成果と課題】

- (1) 日々の業務を通じて、職員の指導や事業管理の知識、スキル等に向上がみられる。また、毎日リーダーミーティングを実施し、事業所の運営に主体的に取り組んでいる。2名に労務管理の学習会を実施した。
- (2) 日々のミーティングのケース検討の実施や、支援計画を意識した記録についての継続的な指導により、PDCAサイクルの考え方は定着している。全般的に利用者との良い関係が築けており、支援スキルの標準化が進んでいる。
- (3) 職員間のコミュニケーションは良く取れており、連携協働については考え方が定着している。気づきという点では職員間の差はあるが、概ねチームワークが良く取れている。

### 3) 経営管理

#### (1) 介護給付費の安定確保

- ① 1日平均利用者23.2人（29人在籍利用率80%）を目標とし、利用者の安定通所を図る。（令和3年度実績1日平均利用者21.1人、29人在籍73%）  
（具体的方策）
  - ・送迎場所や時間など柔軟な対応を行う。
  - ・健康状態の確認など家庭やグループホームとの連絡調整を密に行う。
- ② 職員配置数を維持し重度障害者支援加算の算定を継続する。
- ③ 介護福祉士などの資格取得により福祉職員専門配置加算のランクアップを図る。

#### 【成果と課題】

- ① 7月に新たに1名の利用者(週3日)を受け入れたが、コロナウィルス感染予防のための利用自粛等もあり、1日平均利用者数は21.0人となり、目標に達しなかったほか、昨年度の21.1名も下回った。新型コロナウイルスによる利用実績の低下が令和2年度以降続いている。給付費収入は10,215万円で前年度の10,468万円から253万円減額した。
- ② 必要な配置は維持し、重度障害者支援加算の対象者15名の算定を継続した。
- ③ 介護福祉士の職員1名が退職し、福祉専門職員配置加算のランクダウンがあったが、1名が年度後半に介護福祉士の試験を取得し、5年度にランクアップが可能となった。

#### (2) 月次試算による状況分析

毎月の月次試算の分析を丁寧に行い、予算執行を計画的に行う。緊急的支出に対しては、充当資金の調達のため計画の優先順位を設定する。

#### 【成果と課題】

月次試算分析により月々の経営状態を把握したほか、緊急的な支出も発生せず、計画的な予算執行ができた。

#### (3) 節電等による経費削減

水道光熱費や消耗品など、活動に影響が出ない範囲で節約意識を共有し、経費削減に努める。

#### 【成果と課題】

使用していない場所の消灯など節電意識は全般的に向上している。ただし、照明等の消し忘れは、同じ職員が行う傾向にあり、行動の改善に個人差がみられる。備品購入については、伺い書を使用することで無駄な支出は抑えられた。

### 8 その他の成果と課題

- 1) 施設間交流の促進とそれによる支援の充実を図るために夢の樹みどりと相互に職員を派遣し合う取り組みは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、3年度8月から実施していない。
- 2) 療養介護施設入居者1名の月1回の体験受け入れは、新型コロナウイルス感染症に対する入居先の施設の方針により2年度以降実施できていない。
- 3) 家主からの依頼に応じ、賃借していた土地建物を購入した(11月30日所有権移転)。修繕及び建替えように225万円の積立てた(年間225万円の積立計画を作成)。

### 9 事故等報告

- 1) 2月 利用者の送迎中に車両後方のミラーが利用者居住のグループホームの隣の建物(同法人の経営する他のグループホーム)に接触し、窓枠を破損した。利用者1名が同乗していたが、運転手共に怪我等はなかった。相手と協議の結果、警察への通報は行わず、加入の損害賠償責任保険にて賠償を行った。
- 2) 3月 施設の駐車場から車両を発進した際、前方を走行中の車両の側面に衝突、相手の車両側面及び当方の車両の前方部が破損した。双方に怪我人はなし。相手と協議の結果、警察への通報は行わず、加入の損害賠償責任保険にて賠償を行った。

1 0 開所状況

- 1) 開所期間 自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日  
2) 開所日数 (1) 週開所日数 5日間  
(2) 開所時間 午前9時～午後4時  
(3) 年間延開所日数 242日間 (前年度 241日)  
(4) 平均活動時間 7時間

1 1 利用状況

- 1) 利用者延人員 5,086人 (前年度 5,084人)  
2) 1日平均利用人員 21.0人 (前年度 21.10人)  
3) 体験実習者延人員 16人 (前年度 4人)  
4) 1日平均実習人員 0.07人 (前年度 0.02人)  
5) 実習者実人員 6人 (前年度 3人)

1 2 利用者状況(令和5年3月31日現在)

1) 年齢

- 20歳以上30歳未満 17名  
30歳以上40歳未満 3名  
40歳以上50歳未満 8名  
50歳以上60歳未満 1名  
60歳以上 1名

2) 障害の状況

- 愛の手帳1度 1名 (内身障手帳所持 1名)  
愛の手帳2度 21名 (内身障手帳所持 3名)  
愛の手帳3度 2名 (内身障手帳所持 2名)  
愛の手帳4度 2名 (内身障手帳所持 1名)  
身体障害者手帳1級 5名 (内愛の手帳所持 2名)  
身体障害者手帳2級 5名 (内愛の手帳所持 4名)  
身体障害者手帳5級 1名 (内愛の手帳所持 1名)

障害支援区分 平均障害支援区分 5.4 (前年度 5.4)

- 3) 通所手段 送迎車利用 28名 (内交通機関併用1名・家族送迎併用1名)  
家族送迎 2名 (内送迎者併用利用1名)  
※ 1名利用実績なし

- 4) 居住状況 管内居住 19名 管外居住 11名

- 5) 性別 男性 24名 女性 6名

1 3 利用者工賃

平均工賃 1人 月額 : 4,590円 日給 : 291円  
(前年度1人 月額 : 4,308円 日給 : 275円)

1 4 余暇支援実習状況

- 1) 参加者 実19名 延べ329人 (令和3年度実績 実18名 延べ313人)  
2) 延実施回数 : 118回 (令和3年度実績137回)

月別実施状況 実施月 実施回数 延参加人数  
4月 : 9回 20人

5月	: 10回	25人
6月	: 10回	29人
7月	: 9回	24人
8月	: 8回	19人
9月	: 9回	27人
10月	: 9回	27人
11月	: 10回	27人
12月	: 11回	30人
1月	: 10回	34人
2月	: 11回	31人
3月	: 12回	36人
合計	118回	329人

内容別実施及び参加状況	内容	実施回数	延参加人数	(令和3年度実績)	
	入浴	10回	8人	(11回	11人)
	散歩	6回	7人	(9回	12人)
	ドライブ	34回	74人	(57回	127人)
	ボウリング	28回	105人	(25回	82人)
	調理	26回	97人	(21回	53人)
	外食	0回	0人	(2回	2人)
	ゲームセンター	2回	7人	(0回	0人)
	散髪	6回	21人	(6回	20人)
	スイカ割り	1回	4人	(0回	0人)
	DVD鑑賞	2回	3人	(0回	0人)
	音楽鑑賞	1回	1人	(1回	1人)
	食事一弁当	2回	2人	(5回	5人)
	合計	118回	329人	(137回	313人)

#### 1.5 環境の整備

定期的に室内や建物周辺の清掃を実施し、年間を通して清潔な環境を保つことができた。

#### 1.6 防災

災害時避難訓練を年2回実施した。3月に参加を予定していた当法人と小平手をつなぐ親の会との共催の防災訓練については、新型コロナウイルス感染防止のため規模を縮小した形での実施となり、今年度は不参加となった。